



あまみ 市議会だより

No.57
2020.6



▲ 4月8日 新型コロナウイルス感染症への対応を求める要望書を奄美市長へ提出しました。



▲ 4月13日 市民交流センター新築工事安全祈願祭



第1回定例会

令和2年2月18日～3月25日

発行／奄美市議会

編集／奄美市議会だより編集委員会

〒894-8555

鹿児島県奄美市名瀬幸町25番8号

TEL：(0997) 52-1111

FAX：(0997) 52-2815

Eメール：gikai@city.amami.lg.jp

第1回定例会一般質問・・・・・・・・・・2P～7P

令和2年度予算等審査特別委員会・・・・・・・・8P

第1回定例会常任委員会の審査概要・・9P

第1回定例会の議案・・・・・・・・10P～11P

お知らせ／あとがき・・・・・・・・12P

奄美市公式キャラクター

ゴトくん

市政を問う



3月5日・6日・9日・10日の4日間で16名の議員が市政全般にわたる施策の状況や方針などについて、市当局に問い質しました。要約をご紹介します。

左記の二次元バーコードを、スマートフォン等のバーコードリーダーで読み取るか、奄美市議会ホームページで一般質問の録画中継がご覧いただけます。

議会録画配信

※質問順に掲載

議会録画配信はこちら

1日目



- 1 荒田 幸司
- 2 橋口 耕太郎
- 3 崎田 信正
- 4 栄 ヤス工

2日目



- 1 弓削 洋平
- 2 関 誠之
- 3 正野 卓矢
- 4 奥 輝人

3日目



- 1 竹山 耕平
- 2 伊東 隆吉
- 3 川口 幸義
- 4 永田 清裕

4日目



- 1 林山 克巳
- 2 奥 晃郎
- 3 多田 義一
- 4 安田 壮平

高齢者のバス料金無料化と子育て支援!



荒田 幸司 (日本共産党)

問 自衛官募集に関する情報提供は

答 防衛省への情報提供は、自衛隊法及び同法施行令により協力が求められ、奄美市個人情報保護条例に基づき提供している。提供の開始時期は、少なくとも5年を超える以前から提供していると思う。

問 幼児教育・保育無償化に伴う副食費について

答 副食費を軽減することになれば、同じ未就学児を持つ保護者の負担が利用する施設によって異なる。市は、副食費の負担軽減ではなく独自の施策として、新年度から2歳未満の保育所保育料の負担軽減を図っていく。

問 出産祝い金を第1子から支給できないか

答 出産祝い金の拡充は、安定した財源の確保などの

課題があり、他の自治体の取組み状況等も調査しながら、慎重に検討する。

問 高齢者のバス料金の無料化

答 奄美群島で、高齢者のバス料金の無料化を実施している町村は多いと承知している。しかし、持続した予算確保が必要なおことから引き続き検討を重ねる必要があると認識している。

問 学校給食センターの運営状況は

答 文部科学省が定める「学校給食衛生管理基準」を順守し、安心安全な学校給食の提供を行っている。今後子ども達や保護者の意見を参考に、安心安全で美味しい給食の提供に努める。



【その他の質問】

○小学校給食費の無償化について

○給付型奨学金制度の創設について

一般会計における扶助費の見直しは



橋口 耕太郎 (公明党)

問 一般会計における今後の扶助費の見直しは

答 人口動態や雇用・経済状況など様々な要因が影響すると思うが、障害者の介護給付等事業費の伸びが顕著なため、増加傾向となる見直しを立てている。

問 合併当初約67億円から直近で約93億円だがこの間の増額となった要因は

答 増額となった要因は、生活保護費は減少傾向だが、障害者支援の介護給付等事業費の伸びが大きいことが最大の要因。

問 生活保護費の直近の対象世帯数と類型別内訳について

年度	世帯数(全体)	類型別内訳(世帯数)				
		高齢者	母子	障害者	傷病者	その他
H30	2,085	1,206	75	273	268	263
H28	2,134	1,152	90	278	319	295

答 高齢者世帯のみ54世帯の増加で他の世帯はすべて減少している。

【その他の質問】

○小中学校のネットモラル教育について

○幼保無償化について

介護認定者の障害者控除の認定について



嶋田 信正
(日本共産党)

問 障害者手帳を持っていない介護認定者の障害者控除対象者の認定について

答 介護認定者で障害者控除の対象となる方の実績は、平成30年度6名、本年度は現在8名が申請し、認定されている。障害者手帳を保有しない介護認定者のなかで障害者控除対象となることについてホームページや広報紙などで広く周知する。

問 介護職員等特定処遇改善加算の取組状況は

答 当市が指定・指導監督の権限をもつ地域密着型サービス事業者等の加算取得状況は、特定の人材の賃金引上げを行う難しさから30%に留まっている。

問 特別養護老人ホームの待機状況について

答 令和元年6月1日時点の奄美市における待機者数は100名となっている。在宅での待機者16名、医療機関48名、老人保健施設入所者27名、その他施設9名となっている。入所について各施設の入所判定委員会で様々な検討を行い優先順位を決定する。

問 就学援助制度の完全実施について

答 文科省が定める準要保護の補助対象費目のうち本市では、PTA会費、クラブ活動費、生徒会費、卒業アルバム代は、補助対象としていない。恒久的な財源確保が必要になることから補助対象費目にするか慎重に検討したい。

市民生活・教育行政について



栄 ヤスエ
(公明党)

問 女性活躍について

答 本市の職員採用における女性の割合は、平成18年度では15.38%。直近3カ年は40%超。職員全体と管理職に占める女性の割合は表の通り。

年度	女性の割合	
	職員全体	管理職
H18	27.81%	1.33%
H29	29.7%	4.55%
H30	31.05%	7.46%
R1	32.48%	8.96%

性別に関わりなく個人が意欲に応じて、あらゆる分野で活躍できる奄美市を目指し、男女共同参画社会の推進に取り組む。

問 「おくやみコーナー」設置について

答 死亡届提出後のご遺族の手続きを支援する体制は今後検討する。

問 健診の受診率について

答 受診率は表の通り

年度	特定健診受診率
H28	36.7%
H29	37.4%
H30	37.6%

問 ギガスクール構想について

答 児童生徒一人一台の端末及び高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、全国一律のICT環境整備を推進する。

問 デイジー教科書等教科書導入について

答 デイジー教科書は、通常の教科書に音声や画像を組み込むことで、読み書きに困難がある児童生徒に対して有益な教材である。各学校における必要性を確認しながら、研究を進める。

問 令和2年度からプログラミング教育のICT支援員配置について

答 学校でICTを利用した授業が円滑に進むように、学校現場の実状を把握し今後、研究を進める。

住用町のタンギヨの滝について



弓削洋平
(チャレンジ奄美)

問 観光地としての見解について

答 神屋のタンギヨの滝を含む神屋地区原生林については、景観を含め貴重で豊かな自然の宝庫であると認識している。県が行っている世界自然遺産奄美トレイル住用エリアにおいてもコース選定するなど、住用町の重要な観光資源の一つであると認識している。

問 滝の近くまで行く道路整備について

答 見学者のための駐車場整備については、滝の観光資源として有効活用を図るための課題として検討していく。

問 展望台、ロープウェイ設置の可能性について

答 周辺地域は世界自然遺産登録を控え、奄美群島国立公園区域第2種特別地域に指定され、工作物を新築する場合は、環境省など関係機関の許可が必要である。野生動物や景観などの環境保全を第一に考え、まずは勉強する。

問 スポーツや文化・芸術における補助金について

答 本助成事業が「ふるさと納税等活用事業」の目的・基準に則したものが今後、関係部署とも調整していく。

【その他の質問】

○インシシ被書について
○山間港と東城内海浚渫



タンギヨの滝

令和2年度・市政方針と 予算編成について



関 誠之
(社会民主党)

問 令和2年度・市政方針と予算編成について

答 財政規律を守りながら、暮らしと安全を守る予算をはじめ、福祉・教育分野、産業振興や社会基盤整備における各種事業を推進していくための、財源の裏付けを確保した予算編成である。

問 陸自警備隊の駐屯地以外で小銃を携帯し迷彩服で公道を利用しての徒歩行進訓練について

答 口頭より有事・災害などの備えとして「訓練」は重要である。地域の置かれている状況に応じて市街地演習が実施されている認識について。

問 学校教育における総合計画の目標の達成度について

答 学力の定着・向上が図られた学校は、令和元年度で小学校21校中13校の

62%、中学校で12校中6校の50%である。不登校の割合は、令和2年1月現在、小学校2521人中5人、中学校1212人中15人、割合は0.54%である。30日を超える長期欠席者は、小学校29名、中学校72名で3.2%である。奄美のよさを感じている児童生徒は、小学校92%、中学校93%である。現在、それぞれの目標数値達成に努めている。

学力の定着・向上が図られた学校		
小学校	21校中13校	62%
中学校	12校中6校	50%

	全体人数	不登校		長期欠席者	
		人数	割合	人数	割合
小学校	2521人	5人	0.54%	29人	3.2%
中学校	1212人	15人		72人	

【その他の質問】

○学校における集団フック物洗口の問題点

○小宿区画整理事業の合意形成について

防災ラジオと 大浜Wi-Fi環境整備について



正野 卓矢
(チャレンジ奄美)

問 新しいハザードマップの内容は

答 住民自らが考えて分かりやすいように専門家の意見を取り入れ実用的なものになるよう取り組んでいる。要請があれば対応して講座を実施する。

問 防災ラジオの導入について

答 防災ラジオは緊急時に自動起動し戸別受信機の代わりを果たすものだが、地域を指定した放送や普段の行政連絡放送が出来ない面もあり、防災機器は日々更新している事から検討も含めて災害情報の周知に取り組みたい。

問 防災教育の一環での3Dハザードマップの取り入れについて

答 学校の立地環境から自然災害を具体的に考えることができ、避難場所や

経路を確認など効果的であるが周辺自治体などの状況を見て考えたい。

問 大浜Wi-Fi環境整備について

答 アンケートにおいてWi-Fi環境に対する要望はないが、今後増加が予想される観光客をはじめとした利用者の利便性向上を目的に検討している。

問 大浜に遊具の設置について

答 今の所予定はしていないが、需要を把握し奄美ならではの体験を提供できるように取り組んでいきたい。

問 チャットボット導入について

答 行政事務の効率化に繋がるが費用対効果を含めて試験的に検討していきたい。



さとうきび・豚コレラ対策、 おがみ山バイパスについて



奥 輝人
(自由民主党)

問 さとうきびの生産者手取り価格の推移について

答 左の通り。
(※平成19年以降は基準糖度13.7で算出)

価格(トン)	年次
5,990	S41年
12,500	S48年
20,820	S55年
20,190	H1年
20,702	H19年
21,580	H29年
21,582	H30年
21,604	R1年

問 生産者手取価格の向上に向けて国への陳情団の派遣について

答 毎年6月と12月の年2回さとうきび価格対策協議会で検討した要望項目をもとに、構成団体や生産者代表等で農林水産省及び県選出国会議員への個別陳情や要望を実施している。毎年国へ陳情を継続的に実施する事で交付金の増額や生産振興対策の強化に繋がると考える。

問 株出し圃場における反収向上対策について

答 本年度より奄美市さとうきび振興対策協議会において補植用の苗として1芽苗2万5000本準備し、希望農家へ無償配布を計画している。

問 豚コレラ対策について

答 沖縄県での発生状況を周知し防疫対策の徹底と啓発・指導している。

問 おがみ山バイパスの進捗状況と今後の取り組みについて

答 用地は概ね8割の取得を完了している。新年度より奄美市の協力の下、事業について理解が得られるよう取り組みたい。



ハーvesterによる収穫作業中

マリントウワンの進ちよく状況



竹山 耕平
(自民党奄美)

問 名瀬港マリントウワンの事業の進ちよく状況は

答 工事については、区画道路の設置及び整地工事は完了。現在、上下水道、ガス管の布設工事を行っている。今後はアスファルト舗装工事を行い、早期完成を目指す。分譲地公募については、17区画中6区画で4事業者が土地譲受候補者に決定。今後第2次公募を令和2年度の早い時期に行いたい。

問 これからのまちづくりへ無電中化対策を

答 安全で快適な歩行者空間の確保、都市災害の防止や景観の向上に期待される。今後優先的道路はどこか、歩道幅員や周辺建物の状況から調査研究に努めながら国道県道についてお話しします。

問 教育行政、花づくの花いっぱい運動の取組み

答 子供たちが土に触れながら花を育てることで美しく咲いた花を美しいと感じる心、生命あるものを尊ぶ心、ふるさとを愛する心等感性を育む情操教育の充実、将来を担う子供たちの心の育成に取り組んでいる。また、10月9日～11日に開催される鹿児島国体相撲競技期間中に、会場までの沿道にプランター等を配置し来島される方々を満開の花でお迎えする計画。



花いっぱい運動

【その他の質問】

○世界自然遺産登録に向けた

○改正奄振法について

新型コロナウイルス対策等について



伊東 隆吉
(自由民主党)

問 新型コロナウイルス感染症対策に関し、発生想定を含め、市として基本的な考え方、又、観光業界や地域経済への影響は

答 感染症情報連絡会議を開催、市民に対して正しい情報や感染予防対策の周知の強化を決定、ホームページやデジタルサイネージにおいて注意喚起を行う。感染者発生への対応は、疑いの方は指定医療機関で検体を採取、陽性の場合入院治療となる。又、観光や地域経済への影響は、国内クルーズ船や過去最大級の大型クルーズ船の寄港キャンセルで4000人の来島が中止になる等、バス、タクシー会社、宿泊業者、飲食関係へのキャンセルが相次いでおり奄美の経済への影響は未知数である。

問 細組合、細販売組合の合併の方向性は

答 昨年度の細販売組合の総会において合併が望ましいとの意見が出され、現在両組合の理事会で組織再編の議論を展開して頂いている。

問 静岡市との友好都市提携について

答 静岡市は、政令指定都市であり、人口も70万人と自治体の規模は大きく違つが、世界自然遺産登録の実現後は相互のつながりは一層効果的になるものと思う。静岡市の本市に対する思い、本市との今後の交流等勘案して検討課題とする。

【その他の質問】

○国道58号城バイパス

○マリントウワン分譲

○指定管理「タラソ」



幼保無償化について



川口 幸義
(自由民主党)

問 3歳から5歳児は原則全世帯無償化について

答 幼児期は能力開発、身体育成、人格の形成、情操と道徳心の涵養(かんよう)にとつて非常に大切な時期であり、幼児教育・保育の役割が特に重要である。3歳から5歳までの子どもたちの幼稚園、保育所、認定こども園の費用を無償化するとともに保育の必要性があると認定された子どもについては、幼稚園の預かり保育料や認可外保育施設の保育料についても無償化の対象となっている。

問 福祉行政について

答 介護保険料の滞納者への対応については、納付書送付後、期限までに納付されない場合は、督促状や催告書を送付し納付を促す。それでも納付されない場合は電話催告や臨戸訪問等で接触を図り、口座振替の推奨や世帯の経済状況に応じた分割納付などの納付相談を受け付けている。このような対応を行った後にも、納付されない場合には財産調査を行い、差し押さえや執行停止等の滞納処分を行っている。

【その他の質問】

○保育士不足解消について

○農業行政について

・笠利地区、住用地区、名瀬地区の中間管理機構の実績について

・本市の営農指導員について

○多面的機能支払い交付金について(水十里サークル)



奄美市誕生15年、福祉環境などについて



永田 清裕
(無所属)

問 合併15年と新予算特徴
答 奄美市誕生直後は厳しい財政状況下であったが新たな財源を活用し、3地域における必要な事業をより有利な形で実施した。今後3地域の特性を活かし、市民の皆様が合併して良かったと感じる発展に努める。新予算での特徴は「世界自然遺産登録を見据えた受入れ態勢の充実」「妊娠出産に対する支援」「子育てに対する支援」「学校教育環境の充実」「防災減災対応力の向上」などに必要な施策を講じる。



問 トンネル内ラジオ設備

答 ラジオが入らないトンネルがあるが、トンネルの長さ交通量によって設置規定があり、和光朝戸トンネルにラジオ放送設備が設置してある。

問 陸上自衛隊について

答 自衛隊の皆様は奄美まつりや市民体育祭、大熊町内行事や作業、市の防災訓練に積極的に参加していただいている。今後も連携を密にし、双方の良好な関係に取り組み。

問 子育て環境について

答 小浜保育所は築47年が経過している施設で建て替える必要性があると考えている。他施設も含め整備についても総合的に検討しよう。

【その他の質問】

- 高齢者支援について
- 県総合防災訓練について
- おんねくと教育について

プロ野球球団キャンプ地誘致について



林山 克巳
(自民党奄美)

問 横浜DeNAベイスターズ奄美キャンプ終了について

答 球団の施設完成に伴い2020年から秋季キャンプの変更を伺ったところである。10年間の予算措置は、総額約7億円になるが、『奄美豪雨災害』に見舞われた中、予定通りに奄美入りしていただき、勇気と元気をあたえていただき、感動を覚えている。

問 中心商店街の状況について

答 出店支援事業補助金、店舗リフォーム補助金の施策効果が表れている。卸・小売業については店舗数の減少が見られるが、飲食業では7店舗の増、サービス業などが10店舗の増となっている。

問 水道事業・下水道事業の企業会計に伴う展望について

答 事業の継続性を認識し、人口減少で収益減少が進む中、原資産の維持・更新して収支を安定させていくことが重要である。

問 世界自然遺産登録認定を控えての確認事項について

答 ノネコは、推定600〜1200頭、ノラ猫は、住用地区では9頭・不妊・去勢済89.9%、未処置10.1%、となっている。今後は、笠利・名瀬・旧三方地区のモニタリング調査を進め、ノラ猫の消息状況を把握したいと考えている。殺処分は、平成30年7月から捕獲を開始して、令和2年2月末現在、163頭捕獲したが、殺処分したノネコは0頭である。

陸上自衛隊奄美警備隊が駐屯したことについて



奥 晃郎
(無所属)

問 陸上自衛隊が駐屯した事による効果

答 隊員3500名の隊員とその家族2500名のおよそ6000名ほどと認識している。また、新年度における市民税の増収もおよそ5600万円程度の増収が見込まれる。ほか隊員と地元との交流による地域の活性化などについても、駐屯地直近の大熊地区においては各種地域行事などを通して積極的に交流が続いており、市民清掃などについても駐屯地からの参加があるようである。また、駐屯地整備に係る公共工事の発注はもとより駐屯地における各種消耗品や役務の需要、食材等の納入、さらに、隊員ご家族の皆様様の消費活動など経済面の効果も大きい。

問 逆効果について

答 隊員の通勤時における迷彩服の着用については昨年の第4回定例会一般質問においても質問があったが、奄美駐屯地からは「即応体制の観点から実施しており、今後同様に取り扱う」旨の回答を頂いている。また一般の徒步行進訓練など、いろいろなお意見があることは承知しているが、本市として奄美警備隊が駐屯した事についての「逆効果」というようなものは出ていないものと考えている。



保護者から要望の多い 小・中学校の制服について



多田 義一
(自民党奄美)

問 保護者から要望の多い小・中学校の制服について

答 市内各小・中学校の制服に関しては、教育委員会を選定しているものではなく、各学校にて選定している。制服の変更が必要な場合は、各学校のPTA等で協議していくことになる。

問 コロナウイルス拡大による市内経済への影響は

答 感染者の有無にかかわらず、幅広い業種において影響がでている状況である。経済活動への悪影響に対する支援は、奄美大島商工会議所に相談窓口が設置されている他、日本政策金融公庫による新たな融資制度の創設やセーフティネット貸付の要件緩和が発表されており今後も様々な対策が講じられる見通しで関係機関と連携し対応していく。

問 労働者不足と定住人口の課題の対策は

答 本市において働き手となる人材が不足している現状で、雇用対策事業に力を入れていく。定住促進については、将来を担う子供たちに、島の仕事に触れる機会を伴うこととして「島に仕事はある」という事を提供できるように取り組んでいく。



【その他の質問】

○小学校・中学校の袖（和装）の体験学習について
○バス路線について

教育環境整備にさらなる力を！



安田 壮平
(チャレンジ奄美)

問 国道58号平田町名瀬聖母幼稚園付近の通学路の安全対策ができないか

答 朝夕は交通量が多く、道路幅員が狭い箇所もあると認識している。地域からも要望書が出ており、管理者の県によれば路側帯を強調する外側線やカラー区画線などの安全対策を検討するようだ。



住用町城集落の路面改善
標示のような改善を
要望しました

問 小中学校での朝給食実施を検討してはどうか

答 学校施設や調理器具等の利用は問題ないが時間割の確認や衛生面での管理が必要となる。地域の方々の協力が必要な場合、実施される場合は行政としても協力したい。

問 不登校の児童・生徒への対応は

答 教師による本人や保護者との定期的な教育相談スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーによる相談態勢の整備を図っている。教育機会確保法の「休養の必要性」と「学校以外の学びの場の必要性」についての解釈は個々の状況によって校内の別室や適指指導教室等にて普通教育の機会を確保することを「休養の必要性」と捉えている。また適指指導教室等の利用を「学校以外の学びの場」と捉えている。

問 学校以外の学びの場づくしへの支援をどうするか



答 生活困窮者支援事業としてNPOが学習支援をしており、連携したい。

沖縄県首里城火災への義援金

令和元年10月31日未明に発生した大規模な火災により焼失した、沖縄県首里城の再建の支援のため、奄美市議会では議員に義援金を募り合計11万円の義援金が集まりました。

令和2年4月3日に奄美市議会を代表して与議長が、奄美市民首里城募金推進会議の大津幸夫代表と、花井恒三事務局長に義援金を手渡しました。



議員研修会

奄美市議会では、毎年議員研修会を行い議員の資質の向上に努めています。

令和元年度第2回議員研修会は、2月21日に関西学院大学大学院経済学研究科・人間福祉学部教授 小西 砂千夫氏を講師としてお招きし、「地方自治体の財政運営と財政診断について」をテーマに講話をいただきました。



令和2年度 予算等審査特別委員会

3日間の日程で審査をし最終本会議に報告、採決の結果、可決となりました。審査の一部をご紹介します。

一般会計予算等審査

議案 10 件を審査し、いずれも原案の通り可決すべきものと決しました。事業や議案の一部をご紹介します。

一般会計予算 **336億2798万7千円** (前年度比0.01%増)

行政協力員等地域連携業務 5449万2千円

行政協力員等に対し、行政情報の連絡や周知、自主防災組織の整備や訓練、災害時の広報・調査・報告の業務等を行ってもらうため業務委託を行うもの

「食」の自立支援事業 9105万6千円

ひとり暮らしの高齢者等に食関連サービスを行うことにより、食生活の改善と健康増進を図るとともに、利用者の安否確認を行うもの

農林水産物等輸送コスト支援事業 (加工品含む) 3633万3千円

農林水産物55品目と加工品3品目に対し、島内から島外へ輸送する際の輸送コスト支援を行うもの(奄振事業)

奄美海洋展示館リニューアル事業 1億円

開館から20年を経過しており、観光客等の満足度向上に資するため、展示内容の更新等の整備を行うもの

教育のIT化整備事業 3239万1千円

小中学校へ電子黒板、教員用パソコン等を設置し、授業力の向上を図るもの(ふるさと納税活用事業)

金久中学校校庭改修事業 8500万円

現行のグラウンドの水はけが悪く、排水対策を行うための設計業務や外構工事等

奄美市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について

「まち・ひと・しごと創生法」で規定されている当該戦略の計画期間が令和元年度末までとなっていることから、新たに「～しあわせの島へ～奄美市「攻め」の総合戦略2020」とし、令和2年度から6年度末までの5か年の戦略を定めるもの

特別会計予算等審査

予算案及び条例改正等の議案 15 件を審査し、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

- 国民健康保険事業特別会計予算
51億5,216万5千円
- 国民健康保険直営診療施設勘定特別会計予算
2億6,524万6千円
- 後期高齢者医療特別会計予算
5億2,717万円
- 介護保険事業特別会計予算
49億5,427万2千円
- 訪問介護特別会計予算
3,459万8千円
- ふるさと創生人材育成資金特別会計予算
2,808万円
- と畜場特別会計予算
904万9千円
- 交通災害共済特別会計予算
754万4千円
- 奄美市水道事業会計予算
20億9,731万1千円*
- 奄美市下水道事業会計予算
33億4,522万1千円*

(* 収益的収入と資本的支出の合計額)

奄美市国民健康保険事業特別会計予算について

問 特定健診は国の指針では受診率が60%以上だが、奄美市の状況は？

答 直近の数字で名瀬・住用・笠利の平均は37.6%。

問 受診率が低いことで、県からペナルティがあるのか

答 特別交付金の保険者努力支援分が減らされる可能性がある。健康づくりポイント事業などを継続実施して、受診率アップにつなげたい。

奄美市介護保険事業特別会計予算について

問 新規事業の在宅高齢者転倒予防住宅改修費は、介護の認定を受けていなくても利用する事ができるのか。

答 要支援・要介護の認定を受けていない65歳以上の高齢者の中で基本チェックリストで運動機能に心配のある方を対象とする予定。

奄美市下水道事業の設置等に関する条例の制定について

令和2年度より、奄美市公共下水道事業並びに特定環境保全公共下水道事業及び農業集落排水事業については、新たに下水道事業として地方公営企業法の適用を受け、企業会計を導入する。これに伴い、地方公営企業法の規定により下水道事業の設置及びその経営に基本に関する事項を定める。

第1回定例会 常任委員会

審査概要

2月19日/3月11日 文教厚生委員会
2月20日 産業建設委員会
2月21日/3月11日 総務企画委員会

上記の日程で議案について審査しました。
委員会の審査について一部ご紹介します。

総務企画委員会

ハザードマップ(被害予測地図)更新事業

▼1000万円

平成24年に作成したハザードマップについて、災害に関する基準や災害警戒区域などを更新し作成する事業。

問 更新により、どのように改善される予定か
答 これまで、名瀬・住用・笠利の3地区、土砂災害編・津波編と分けていたものを小冊子型の1冊にまとめる。避難先がすぐ分かるように見やすく分かり易くするほか、災害に関する知識や避難時の心構えなども掲載予定。



名瀬上空を飛来する機体の監視カメラ設置をもとめる陳情
▼不採択とすべきもの

陳情事項

1. 名瀬市街地上空を飛来する、航空機を識別する監視カメラの設置を要望する。

議員からの主な意見

○実際に米軍機と思われる大型給油機が飛んで来て目撃され、回数も増えて来ている状況の中で、住民の不安払しょくや、安全確保の面から実態を把握する事は必要である。

○どういった飛行物体なのか知りたい気持ちには分かるが、現実にはそういう空港でのレーダーのような識別カメラが在るのか不明。現段階では然るべき関係機関を通して照会するのが現実的で、カメラ設置は困難だと思われる。

産業建設委員会

農林水産物輸送コスト支援事業

▼1602万円 減

問 今回減額補正となっているが、以前は増額補正をしている。予算の執行残をできるだけ出さないようにしていただきたいが

答 当初の予算計上時は従来どおり55品目の予算を計上したが、改正奄振法によって追加された加工品と原材料分を増額分として補正計上した。また、水産物については予算が不足することを避けるため、豊漁年を基礎として計上している。



マングローブパーク駐車場整備

▼4712万4千円

問 近年の利用状況と工事場所は

答 平成30年度で約4万人、平成27年度と比較して約1万人増えており、今後も利用者が増えることが予想されるため、現在トイレを設置している場所の後方に整備を予定している。

公共下水道事業特別会計

問 地方公営企業法の適用、また資金繰りについて

答 次年度より特定環境保全公共事業、農業集落排水事業を含め、公営企業法を適用することとなる。事業運営にあたり、ある程度の資金が必要となることから、まずは2億円程度の資金を留保した上で運営を行っていく。

文教厚生委員会

公立学校ICT環境整備事業費

▼4億3064万2千円

問 具体的な事業内容は

答 文部科学省が示したGIGAスクール構想を実現するために児童生徒一人一台のタブレット端末及び高速大容量の通信ネットワークを整備するもの。令和2年度は小学校5・6年生と中学校1年生に配布するタブレット購入費、また今後複数年にかけて、全児童生徒への配布を行う計画である。



奄美市市民交流センター新築工事請負契約の締結について
▼可決すべきもの

奄美市市民交流センターは、平成28年度に解体された、旧名瀬公民館に代わる代替施設として計画されたもの。旧水道課跡地に鉄筋コンクリート構造3階建て、ホールや図書コーナー等を備えた市民の学びと文化の交流拠点として整備する。

問 図書について

答 旧名瀬公民館には、約1万3千冊あり、新たな施設には約1万6千冊から7千冊の蔵書を計画している。定期的な図書の購入についてもたくさんの方が利用する施設ということで、柔軟に意見を聞きながら計画的に進めていく。

議案第 29 号	奄美市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	特別会計
議案第 30 号	奄美市給水条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	特別会計
議案第 31 号	奄美市債権管理条例の制定について	原案可決	一般会計
議案第 32 号	奄美市任期付市費負担教職員の採用，給与及び勤務条件等に関する条例の制定について	原案可決	一般会計
議案第 33 号	奄美市下水道事業の設置等に関する条例の制定について	原案可決	特別会計
議案第 34 号	大島地区衛生組合同規約の変更について	原案可決	一般会計
議案第 35 号	工事請負契約の締結について	原案可決	総務企画
議案第 36 号	工事請負契約の締結について	原案可決	文教厚生
議案第 37 号	工事請負契約の締結について	原案可決	文教厚生
議案第 38 号	工事請負契約の締結について	原案可決	文教厚生
議案第 39 号	奄美市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について	原案可決	一般会計
議案第 40 号	令和元年度奄美市一般会計補正予算（第5号）について	原案可決	本会議
議案第 41 号	教育委員会委員の任命について	同意	本会議
発議第 1 号	市長の専決処分事項の一部改正	原案可決	本会議

請願・陳情の状況

受理番号	件名	提出者	結果	所管委員会
陳情第 1 号	名瀬上空を飛来する機体の監視カメラ設置をもとめる陳情	戦争のための自衛隊配備に反対する奄美ネット 代表 城村 典文	不採択	総務企画

前議会からの継続審査事件

受理番号	件名	提出者	結果	所管委員会
令和元年 陳情第 9 号	日米地位協定の見直しを求める陳情	奄美民主団体協議会 会長 荒田 まゆみ	継続審査	総務企画

賛否が分かれた案件

賛否が分かれた案件を議員ごとに掲載しています。（○は賛成・●は反対）※与勝広議員は議長職の為、表決権はありません。

議案番号・件名	議員名（議席番号順）																	【○賛成数】	【●反対数】					
	正野卓矢	弓削洋平	永田清裕	奥晃郎	荒田幸司	崎田信正	安田壮平	橋口耕太郎	栄ヤスエ	大迫勝史	松山さおり	林山克巳	西公郎	関誠之	奥輝人	川口幸義	伊東隆吉			元野景一	与勝広	竹山耕平	橋口和仁	多田義一
陳情第 1 号 名瀬上空を飛来する機体の監視カメラ設置をもとめる陳情	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●	-	●	欠席	●	3	17

第1回定例会の議案

議案等番号	件名	議決結果	付託委員会
	専決処分の報告について (専決第1号 和解及び損害賠償の額を定めることについて)		
議案第1号	令和元年度奄美市一般会計補正予算(第4号)について	原案可決	全委員会
議案第2号	令和元年度奄美市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)について	原案可決	文教厚生
議案第3号	令和元年度奄美市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計補正予算(第2号)について	原案可決	文教厚生
議案第4号	令和元年度奄美市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	原案可決	文教厚生
議案第5号	令和元年度奄美市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)について	原案可決	文教厚生
議案第6号	令和元年度奄美市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)について	原案可決	産業建設
議案第7号	令和元年度奄美市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)について	原案可決	産業建設
議案第8号	奄美市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	総務企画
議案第9号	奄美市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	産業建設
議案第10号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	原案可決	総務企画
議案第11号	令和2年度奄美市一般会計予算について	原案可決	一般会計
議案第12号	令和2年度奄美市国民健康保険事業特別会計予算について	原案可決	特別会計
議案第13号	令和2年度奄美市国民健康保険直営診療施設勘定特別会計予算について	原案可決	特別会計
議案第14号	令和2年度奄美市後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決	特別会計
議案第15号	令和2年度奄美市介護保険事業特別会計予算について	原案可決	特別会計
議案第16号	令和2年度奄美市訪問看護特別会計予算について	原案可決	特別会計
議案第17号	令和2年度奄美市ふるさと創生人材育成資金特別会計予算について	原案可決	特別会計
議案第18号	令和2年度奄美市と畜場特別会計予算について	原案可決	特別会計
議案第19号	令和2年度奄美市交通災害共済特別会計予算について	原案可決	特別会計
議案第20号	令和2年度奄美市水道事業会計予算について	原案可決	特別会計
議案第21号	令和2年度奄美市下水道事業会計予算について	原案可決	特別会計
議案第22号	奄美市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	一般会計
議案第23号	奄美市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	一般会計
議案第24号	奄美市ふるさと創生人材育成基金条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	特別会計
議案第25号	奄美市国民健康保険療養給付基金条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	特別会計
議案第26号	奄美市地方卸売市場の設置及び業務条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	一般会計
議案第27号	奄美市営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	一般会計
議案第28号	奄美市定住促進住宅条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	一般会計

議会の動き

【2月】

- 3日 議会だより編集委員会
- 5日 全国市議会議長会第108回定期総会 / 東京都
- 6日 市議会議員共済会第119回代議員会 / 東京都
- 12日 全国過疎地域自立促進連盟第140回理事会 / 東京都
議会運営委員会
- 14日 議会報告会
- 18日 会派代表者会・政策立案推進会議
- 19日 文教厚生委員会
- 20日 産業建設委員会
- 21日 総務企画委員会・議員研修会
- 25日 本会議・会派代表者会
全員協議会

【3月】

- 5日 一般質問
- 6日 一般質問
- 9日 一般質問・議会運営委員会
- 10日 一般質問
- 11日 本会議
総務企画委員会・文教厚生委員会
- 13日 予算等特別審査委員会
- 16日 予算等特別審査委員会
- 17日 予算等特別審査委員会
- 18日 予算等特別審査委員会
- 19日 議会運営委員会
- 25日 最終本会議・全員協議会
政策立案推進会議
- 31日 懲罰特別委員会

【4月】

- 8日 議会運営委員会

第2回定例会の予定

6 June

2020

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
31	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12 開会	13
14	一般質問				19 本会議	20
21	常任委員会			25	26	27
28	29	30	1	2	3	4

7 July

2020

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
28	29	30	1 最終 本会議	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11

議会をご覧になりませんか？

「傍聴」

事前連絡は不要です
奄美市役所名瀬庁舎8階
にお越しください。

「議会中継」

議会の様子を
インターネットで
生中継しています。

編集あとがき

4月、奄美の山々は新緑に覆われ、旅立ちと出会いの季節を迎えた。しかし、今年はコロナ禍により、季節の輝きが失せた。新型コロナウイルスは、まるで人間社会に挑戦するかのようには世界中の人々を震撼させている。

亡くなった方々の国別の状況が、ICUの病床数との比較で報道されている新聞記事が目にとまった。十万人あたりの病床数は、ドイツが29床、イタリア12床、そして日本が5床とのことである。日本の医療の現実を見た思いだ。日本が舵を切りつつある、軍事力の増強では新型コロナウイルスには対抗できない、人命を守れないことが露呈した。今こそ、医療、福祉を大切に作る国づくりを舵を切りかえる時ではないだろうか。

日本赤十字社発行のリーフレットに『新型コロナウイルスが怖いのは、「3つの感染症」という顔があること。3つの感染症はつながっており、第1の感染症は「病気」、第2の感染症は「不安」、第3の感染症は「差別」との説明がある。副題は「負のスパイラルを断ち切るために」だ。一読の価値ありと思う。

議会だよりが発行される頃には、感染が収束に向かっていることを願いつつ。
(荒田 幸司)

市議会だより 編集委員会

- 【委員長】 元野 景一
- 【副委員長】 荒田 幸司
- 【委員】 弓削 洋平、奥 晃郎、橋口 耕太郎、松山 さおり、林山 克巳、関 誠之

